

名張市ホームページ管理システム賃貸借 プロポーザル審査要領

1 目的

名張市ホームページ管理システム賃貸借に係る公募型プロポーザルにおける提案事業者のうちから、当該業務を履行するうえで最も適した随意契約の相手方となる優先交渉権者を選定するため、必要な事項を定める。

2 審査の実施

- ・日 時：令和8年8月24日（月） から企画提案書等の提出順に実施
- ・場 所：名張市役所 4階 404 会議室
- ・審査形式：プレゼンテーション審査

3 審査の方法

- ① 各提案事業者が提出した企画提案書等及びプレゼンテーション・ヒアリングの内容について、各審査委員が審査基準に基づいて評価した評価点を提案事業者ごとに集計し、集計した評価点合計（以下、「評価合計点」という。）が最も高い提案事業者を優先交渉権者とする。なお、プレゼンテーション時間は30分以内とし、ヒアリングについては20分程度とする。
- ② 評価合計点について、最も高得点となった者が複数となった場合は、価格提案評価点の高い事業者を優先交渉権者とする。
- ③ 企画提案評価点は、企画提案評価項目について、提案事業者ごとに各審査委員が評価した点数の平均点とする。
- ④ 企画提案評価点が90点未満である提案事業者は、失格とする。

4 審査基準

（1）審査項目及び配点

審査は、「企画提案評価」、「機能評価」及び「価格評価」により行う。各項目の配点は以下のとおりとする。

企画提案評価点150点、機能評価点30点、価格評価点20点 ： 合計200点満点
--

【評価基準表】

評価項目		評価内容	配点
企画提案評価	会社の実績・信頼性	本業務を履行するに当たり、自治体向け CMS 導入、ウェブサイト構築、運用保守等に関する知識、経験及び実績を有しているか。業務継続に当たり、経営基盤や実施能力に問題はないか。 など	30
	システムの使いやすさ	導入目的に適したシステムであり、管理画面、ページ作成、承認、公開等の操作が分かりやすく、職員が円滑に利用できるか。 など	30
	公開サイトの見やすさ	公開サイトのデザイン、構成及び情報の見せ方が分かりやすく、利用者が必要な情報にたどり着きやすいか。 など	30
	アクセシビリティへの対応	日本工業規格「JIS X 8341-3 : 2016」に基づくウェブアクセシビリティ対応について、CMS 機能、デザイン、運用支援、試験及び結果公表支援の内容が十分であるか。 など	10
	導入体制・進め方	本業務を十分に理解し、実施体制、役割分担、連絡調整体制及び進行管理の方法が適切であるか。 など	10
	導入スケジュール・実現性	作業内容、確認工程及び公開までのスケジュールが具体的であり、履行期限までに無理なく実現可能な内容となっているか。 など	10
	データ移行・公開切替	現行サイトからのコンテンツ移行方法、確認方法、公開切替手順及び移行に伴うリスク低減策は適切か。公開前確認や職員との役割分担は明確か。 など	10
	運用保守・サポート	システムの運用時間、問い合わせ対応体制及び保守対応体制は十分か。障害時、緊急時及び災害時を含めた支援体制、運用支援、マニュアル整備、研修対応等は十分か。 など	10
	安全性・安定稼働	セキュリティ対策、改ざん検知、データ保護、バックアップ、障害対応及び監視体制が十分であり、データセンター等の施設・設備の内容が適切であるか。 など	10
機能評価		本業務の仕様書で示した内容について、パッケージの標準仕様等で対応可能なのか、カスタマイズ等で対応可能なのか、代替運用で対応となるのかを「CMS・データセンター機能要件一覧表」により提案者に回答してもらい、システムとしての安定性及び適合性を評価する。 評価は30点満点の減点方式とし、◎は減点なし、○は1点減点、△は2点減点とする。減点により基礎点が0点となった場合は、それ以上の減点を行わない。ただし、対応不可能な項目がある場合には、基礎点による評価とは別に、1項目につき5点を減点する。この場合において、最終評価点が0点未満となる場合は、0点とする。	30
価格評価		見積書に記載された価格について評価する。 なお、見積額（税抜）は、提案者が見積書に記載した見積額（税抜）の総合計額を指す。 価格点は次の基準で評価する。 価格点＝20×（全ての提案者のうち最も安価な見積額（税抜））／（提案者の見積額（税抜）） ※小数点未満切り捨て	20
合計			200

(2) 審査の視点

各審査項目における審査の視点は、以下のとおりとする。

① 企画提案評価

企画提案書等及びプレゼンテーションの内容について評価する。評価項目は、企画提案書等作成要領において指定した項目を対象とする。なお、各評価項目に関連して、仕様書に定める内容を上回る有効かつ実現性のある提案がある場合は、当該評価項目において加味するものとする。

評価項目	評価ポイント
会社の実績・信頼性	本業務を履行するに当たり、自治体向け CMS 導入、ウェブサイト構築、運用保守等に関する知識、経験及び実績を有しているか。業務継続に当たり、経営基盤や実施能力に問題はないか。 本業務を履行するにあたり、知識を有しているか。 本業務の経験（地方自治体の導入実績）を有しているか。 経営状況は健全か。 事業の継続性に問題はないか。 など
システムの使いやすさ	導入目的に適したシステムであり、管理画面、ページ作成、承認、公開等の操作が分かりやすく、職員が円滑に利用できるか。 導入する目的に適しているか。 管理画面、ページ作成、承認、公開等の操作が分かりやすく、職員が円滑に利用できるか。 更新作業の負担軽減に配慮された構成となっているか。 将来的な拡張性、構成変更への対応力は十分か。 など
公開サイトの見やすさ	公開サイトのデザイン、構成及び情報の見せ方が分かりやすく、利用者が必要な情報にたどり着きやすいか。 利用者の属性にかかわらず、分かりやすい構成及び情報設計となっているか。 など
アクセシビリティへの対応	日本工業規格「JIS X 8341-3：2016」に基づくウェブアクセシビリティ対応について、CMS 機能、デザイン、運用支援、試験及び結果公表支援の内容が十分であるか。 CMS 機能及びデザイン面でアクセシビリティへの配慮が十分か。試験、改善支援及び結果公表支援の内容は十分か。 など

導入体制・進め方	本業務を十分に理解し、実施体制、役割分担、連絡調整体制及び進行管理の方法が適切であるか。 本業務の遂行方針は適切か。 本業務を履行するための実施体制、役割及びメンバーは問題ないか。 標準機能を中心とした無理のない構成となっているか。 将来的な制度改正、運用変更、組織改編、端末環境の変更等に柔軟に対応できるか。 など
導入スケジュール・実現性	作業内容、確認工程及び公開までのスケジュールが具体的であり、履行期限までに無理なく実現可能な内容となっているか。 作業スケジュールと内容が明示されており、履行期限までの実現が可能か。 職員への操作説明、テスト、実証実験及び公開前確認に対する支援内容が十分であるか。 など
データ移行・公開切替	現行サイトからのコンテンツ移行方法、確認方法、公開切替手順及び移行に伴うリスク低減策は適切か。公開前確認や職員との役割分担は明確か。 移行方法、確認方法及び公開切替手順は適切か。 移行に伴うリスク低減策及び本市への支援内容は十分か。 など
運用保守・サポート	システムの運用時間、問い合わせ対応体制及び保守対応体制は十分か。障害時、緊急時及び災害時を含めた支援体制、運用支援、マニュアル整備、研修対応等は十分か。 システムの運用時間やヘルプデスクの対応十分か。(仕様書の範囲を超えても対応が可能か。システム運用時間外であっても、緊急時又は繁忙期に稼動することは可能か。) 保守体制は十分に取られているか。(通常時及び緊急時も含む) 保守サービス内容は十分に取られているか。 運用上での支援、サポートは十分か。(ネットワークトラブル等で、システムが利用できなくなった場合の対処方法は充分であるか。) など
安全性・安定稼働	セキュリティ対策、改ざん検知、データ保護、バックアップ、障害対応及び監視体制が十分であり、データセンター等の施設・設備の内容が適切であるか。

	システムのセキュリティ対策、改ざん検知、データ保護、バックアップ、障害対応及び監視体制は十分か。 データセンターの施設・設備、監視、冗長化等の内容は適切か。 など
--	---

② 機能評価

本業務の仕様書で示した内容について、パッケージの標準仕様等で対応可能なのか、カスタマイズ等で対応可能なのか、代替運用で対応となるのかを「CMS・データセンター機能要件一覧表」により提案者に回答してもらい、システムとしての安定性及び適合性を評価する。

評価は30点満点の減点方式とし、◎は減点なし、○は1点減点、△は2点減点とする。減点により基礎点が0点となった場合は、それ以上の減点を行わない。ただし、対応不可能な項目がある場合には、基礎点による評価とは別に、1項目につき5点を減点する。この場合において、最終評価点が0点未満となるときは、0点とする。

③ 価格評価

見積書に記載された価格について次のとおり評価する。

$$\text{価格点} = 20 \times \left(\frac{\text{全ての提案者のうち最も安価な見積額（税抜）}}{\text{（提案者の見積額（税抜））}} \right)$$

※小数点未満切り捨て